

原研の今・未来見学会 2013 実施報告

本見学会は、都市大・原研（王禅寺キャンパス）の今の姿を見て頂くとともに、未来に向けて、このキャンパスをどう活用していくかについて意見交換することを目的として開催しました。できるだけ多くの方に訪れていただきたいと考え、今年度は3回開催しました。

最近の主なアクティビティ紹介では、当研究所の三橋特任教授より「福島における土壌、森林の放射能測定と評価」と題して、研究成果の一端を紹介しました。（※第3回は都合により「臨界50周年記念会（2013/10/30実施）」での発表内容の一部を紹介しました）

意見交換の時間には、実に多くの貴重なご意見を伺うことができました。やはり、まだまだ認知されていないということを実感するとともに、今回頂いたご意見を基に、次のアクションにつなげていきたいと考えています。次ページ以降にアンケート結果をまとめています。参加いただいた皆様の生の声をぜひご覧ください。

原子力研究所としては、今年度の成果を踏まえて、次年度以降も積極的に情報を発信していきます。より多くの方々に都市大・原研に訪れていただき、皆様とともにこのキャンパスを有効に活用していく道を模索してきます。引き続きよろしくお願いいたします。

《2013年度 開催履歴》

- 第1回 2013/8/29
- 第2回 2013/11/27
- 第3回 2014/2/26



写真1 意見交換



写真2 実験室の見学

2014年2月27日
東京都市大学 原子力研究所

アンケートのまとめ

1. 「最近の主なアクティビティ紹介」についてのご感想・ご意見

- 土壌の放射線量と空気中の放射線量が異なることに驚きました。植物への放射性物質の付着について調べることで除染にもつながると思います。
- 福島と本大学がここまで密接にかかわっていることは知らず、今回大変ためになった。
- 廃炉したということしか知らなかったのも、今も施設で使われている機器があることに驚きました。さらに、研究内容としても、原子炉に直接かかわる内容だけではないと知ることができてよかったです。
- 福島の放射能・線量の研究においても、学部1，2年生で学ぶ数学が有効に応用されていることを知ることができました。
- 除染の問題が深刻な折ですが、線量のモデル他は実に興味深いものでした。社会貢献大であると思います。
- 放射能の相当部分が葉からということなどを教えていただき、除染対策について考えるきっかけになりました。
- 思った以上に盛んに活動しているというのが正直な感想です。
- 場所によって放射能汚染が違い、その差が大きくて驚きました。
- 福島との結びつきについては予想通り、チェルノブイリ関係の話ももう少し聞きたかった。
- もう少し情報発信・見学対応で工夫できることがある気がした。
- 福島に学生を連れて行って測定なんていうのも実現できれば面白いのではと思った。
- 福島の役に立てていてすごく良いと思いました。
- 新しい目玉として加速器はインパクトがあると思います。ぜひお手伝いさせていただきます。
- 加速器を組立から学んでいこうというスタイルは非常に良いと思った。中々触ることのできない機械を実際に手に取れることは非常に楽しいと思う。
- げんけん Monthly Report は、とても力を入れて作られていると思います。毎月定期的に発行するのは大変なことですが、認知度向上には必要です。

2. 「施設見学」についてのご感想・ご意見

- 実際に使用されていた原子炉を直接見学できるとは思っていなかったのも大変貴重な体験でした。また、現在も廃炉の研究等で社会の役に立っていることが実感できました。
- 原子炉はなかなか見られるものではないので、良い体験となった。
- 使用していた当時のようには原子炉を実感することは難しいと思いますが、実際に運用していた先生方の話をその場で聞くことで、当時の様子を想像しやすくなったと思います。また新しい装置を設置するなど、新たな取り組みをしているとは意外で、もっと全学に知ってもらいたいと思いました。
- 原子炉というものを実際に見ることができたのが何より貴重な経験でした。加速器が

新たに来たところに立ち会えたのもよかった。これからの進展を楽しみにしています。

- 写真でしか見たことがなかったため、今回大変貴重な見学となりました。所のかかえる課題について今後考えさせていただきたいと存じます。
- 実際の施設を拝見することができ、原子炉のイメージをよりリアルに持つことができました。かつてのアクティビティを感じることができました。
- 先人の意欲が感じられた。
- 都心近郊で原子炉施設を見学できる数少ない施設なので、このような機会は素晴らしいと思います。
- 普段は見ることができない施設を見せていただいて貴重な経験させていただきました。
- 原子炉を今回初めて見たので、新鮮な感じがしました。
- 現物を見学させていただける機会を得て、非常に面白かった。今日見聞きした情報と照らし合わせながら、原子力についてより知りたいと思った。
- 原子炉建屋内部は広いとは聞いていたが想像以上の広さだった。
- 廃炉した後ということで、古い装置のイメージがあったが、内部は予想に反して古くはなかった。
- 炉の仕組みの鮮明なイメージを持つことができた。
- 大学のほかの施設を見学できてよかったです。
- 新しい加速器の構築を始めるようなので、少しずつ進んでいるという実感しました。
- 原子炉が非常にきれいに維持されているのにびっくりしました。東南アジアのトリガー炉より整備されている印象です。
- 加速器は、中でどのように加速されて、仕事がされていくのかわかりやすい説明を工夫するとよい。

3. 「意見交換」について

(1) 最近の原研の活動についてどう思われますか？

- オープンキャンパス等の行事で高校生向けの見学会等を行って原研を身近に感じてもらい、原子力安全工学科の入学者を増やしていけると思う。
- 幼稚な意見ですが、原子力研究所にははじめてきましたが、第一印象はとても無機質で、木々で囲まれた少し怖い場所と感じました。なので、世田谷キャンパスでは盆踊り大会などの地域の人々との交流を行っているので、このキャンパスを小学校も近いことで、同じようにこのようなイベントを行えばよいのではないかと思いました。
- 頻繁に見学会が行われたら、原子力研究所について興味を持っているけれども、関わりのない学科だから機会がない人でも来やすいと思います。また、どうしても原子炉のイメージが強いので、分析を行う施設という点も広く知ってもらえば利用したい学生もいるのではないかと思います。
- 中・高の理科の先生方に見学していただくことが重要だと思います。
- 大学全体として施設、土地が有効活用できる道はないでしょうか？福島の影響は今後数十年続くと思われ、それに対する貢献は続けてゆくべきと存じます。

- これまで活動が原研の外に見えてきていませんでしたが「げんけんマンスリーレポート」などは様子が少しわかって大変良いと思います。何かもっと原研を身近に感じられるイベントがあるとよいかもしれません。
- 環境学部で市民講座の企画をしています。現在市民の放射能についての関心が高いので何らかの形でご協力いただけたらと思います。
- ぜひ有志で加速器の整備を手伝わせていただきます。
- 世間の原子力というもののイメージが、福島事故以来悪くなっているのもあるので、イメージアップにつながるような活動をしたらよいと思います。
- 原子力はほかの学科の人間からすると非常に難しいので、ゼミのような簡単な講座を開かれるともっと興味を持ってもらえると思います。
- 世田谷キャンパスでは、機械に興味がある方が多いと思うので、機械部品を手にとつての活動を提案すれば、多くの方が参加するのではと思う。
- 情報発信・見学者対応で、もう少し工夫できることがありそう。
- ゼミ・見学会の開催先（学科・研究会だけでなく、サークルなどの団体などへも）何かを分析するイベントがあれば来てみたいと思いました。特に、福島の試料の分析は、みんな興味があって楽しいと思いました。夏休みに泊りがけとかも楽しそうだと思いました。大学生だけでなく、小中学生向けの簡単な分析イベントもいいと思います。
- 原研の分析装置を実際に使える機会があると、体験できて面白いと思います。
- バスの運転手さんに「都市大の原研の停留所はどこですか？」と聞いたら知らなかったので、知名度があまり高くないなあと思いました。お金がかからないで知名度が上がるイベントは難しいですが、地域の人にアプローチする何か良い方向を考えてみたらどうでしょう。

(2) 原研を有効に活用するためにはどんなアクションが必要だと思われますか？

- 原子力安全工学科だけでなくエネルギーという観点でエネルギー化学科の学生にも身近に感じてもらうためにエネルギー化学科の学生実験も行うとよいと思います。
- 加速器が今後導入されるということで、例えばエネルギー化学科に限って言えば、ほとんどの研究室は X 線をかなり使うので、導入されれば自然と利用したいという学生は増えていくと思います。ただ、あまりこのキャンパスを知る機会がないので導入された際は、より世田谷などのほかのキャンパスに宣伝した方がよいと思います。
- 今でもさまざまところで、原研で行われている研究や施設について紹介されたりしていると思いますが、一度見学してみないと、せっかくの情報をもらっても、聞き流してしまうと思うので、学生には一度来てもらうようにしたらいいかなと思います。他のキャンパスで研究紹介を機会があったらより気軽に原研に触れることができるかもしれません。
- 同じ敷地内に別の研究所を作るのはどうか。理論系なら小さくもできる。
- 原研の問題を考える人を増やすことではないかと思います。Benefit/cost 比が悪いということかと。Benefit を増やすために教育（学部等）を移してくるのがよい。

- 原子力及びその周辺分野の研究活動を活発にすることに尽きると思います。そのために学内のほかの学科の教職員も連携して共同研究などできるとよいと思います。
- 散策路を書き込んだマップなどはあるでしょうか？
- 関係のない人にももっと知ってもらうことだと思います。
- キャンパスが離れていて、交通手段もあまりないことから、あまりなじみのない施設というイメージを持っています。もっと人的な交流を活発にしていくようなことをしたらよいと思います。
- 地震以来原子力は危ないというイメージが植えつけられている感じがするので、まずは安全さをアピールし、科学体験教室やオープンキャンパスで公開できれば有効に使える気がします。
- 世田谷では原子力研の知名度があまり高くなく、自分もあるということしか知らなかった。内部を見学できるとなれば、とても貴重で面白いので、原研の存在をアピールすること、内部を見ることができると押していくといいと思う。
- やはり知名度が足りてないので、そこを。
- 他のキャンパスとバスで結んでもらえると行きやすいと思います。また、車で来られることを知らなかったので、ホームページにわかりやすく載せるとよいと思いました。遠くて何をやっているのかわかりませんでした。
- 今、社会で原子力発電が注目されているので、全学に向けて、原子力・放射線講座をしたらどうでしょうか？見学も含めてやったらよいと思います。

(3) その他

- こういった見学会の機会を与えていただきありがとうございました。このような施設があるのにごく少数の学生しか訪れないのはもったいないと思いました。
- とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- 今まで、全くと言っていいほど原研について知らなかったので、知ることができてよい機会になりました。ありがとうございました。廃炉の工程のスパンは長いと思いますが、日々少しずつ変化していく様子や活動の記録の発表会とかあると面白いと思います。
- 楽しかったです。勉強になりました。ありがとうございました。
- これだけ豊かな自然があることを初めて知りました。環境学部の実習やキャンプ、ゼミ等にに使わせていただけたら素晴らしいと思いました。
- 勉強になりました。ありがとうございました。
- 視野が広がったと思います。ありがとうございました。
- 総務の方に原研で出勤チェック（ネームカードでピットする）して下さいと言われてましたが、出勤記録機がありませんでした。総務の人もあると誤解しているのはビックリです。設置すべきです！

以上